

南極観測船を体験

白瀬日本南極探検隊 100周年
～しらせ・南極フェスタ～



しらせの艦内を見ようと長蛇の列

9月10日から12日の3日間、秋田市セリオンを主会場に、白瀬日本南極探検隊100周年『しらせ・南極フェスタ』が行われました。期間中の来場者は7万人を超えました。

10日は南極観測船新しらせが秋田港へ入港。多くの県民が南極探検旗を振って出迎え歓迎しました。この日は関係者や金浦小児童などが艦内を特別観覧。全長138m幅28mの大きな艦内で、児童たちは南極までの航海を体感できたようです。



▲南極探検旗を振ってしらせを出迎える

▼劇団わらび座と金浦海洋少年団



◀しらせ乗員たちが白瀬中尉を墓参(11日、浄蓮寺)



▶昭和基地とのテレビ交信

11日からは新しらせ艦内が一般公開。強い雨が降る天気となりましたが、午前中から長い行列ができ、入艦に3時間を要するなど、受付を一時中断するほどの人気ぶり。イベント会場では、南極観測隊員らによる白瀬・南極トークショーや南極昭和基地とのTV交信などが行われ、小学生による質問コーナーでは、現地の観測隊員が返答に困るような質問がでるなど会場をわかしました。ほかにも、劇団わらび座ミュージカル「白瀬中尉物語」など、盛りだくさんで、県民は白瀬中尉と南極に触れることができました。

密度の濃い実践的な訓練

～にかほ市総合防災訓練～



ヘリによる搬送訓練

9月12日、平成22年度にかほ市総合防災訓練が行われました。住民参加型の訓練として、毎年、休日開催しており、この日も午前7時のサイレン吹鳴に合わせ、避難訓練が市内全域で行われました。その後、さくら団地、浩寿苑・金浦療護園で消火・避難訓練、象潟構造改善センターで爆発火災を想定した多数傷病者事故訓練など、より実践的な訓練を行いました。

県防災ヘリによる傷病者搬送や医師会の協力による医療活動、現地災害対策本部の報道対応などに加え、多くの市民が参加し、密度の濃い訓練となりました。

鳥海山の芸能と荘厳な雰囲気

～鳥海山伝承芸能祭～

にかほ市誕生5周年と、昨年7月の「鳥海山」国史跡指定を記念した鳥海山伝承芸能祭が9月11日、小滝金峰神社境内の郷土文化保存伝習館で開催されました。市内外から8団体が一堂に会し、舞いや番楽、神楽など10芸能を披露しました。

あいにくの雨天で室内開催も検討されましたが、「史跡に指定された神社境内の雰囲気を一緒に味わってみたい」と屋外で開催。約500名の観客の多くは、最後まで鳥海山麓に伝わる芸能を堪能し、篝火の焚かれた舞台・境内の荘厳な雰囲気に浸っていました。



本海番楽(由利本荘市)

さわやかスポーツ

仁賀保球友会

雄物川スタルヒン杯
550歳野球大会

- 【優勝】
▼100kg級
越川辰一さん(十二林2区)
- 【第3位】
▼73kg級
板垣将大さん(浜金浦2区)

東北学生柔道体重別選手権

- 【第2位】
▼女子エイト 明治大学
▼女子かじつきクオドルプル 明治大学
以上、浅利真喜子さん(平沢)



- 【第1位】
▼男子エイト 日本大学
佐藤賢治郎さん(南金浦区)

全日本ボート選手権

寄付・寄贈など

市商工会の会員親睦ゴルフの際に行ったチャリティー募金から、市教育委員会へ寄付がありました。参加者39名を代表して、大会実行委員長の齋藤金悟さんが教育委員会を訪問し、「子どもたちのために使ってください」と募金を手渡しました。今後、市の教育関係に使われる予定です。

ゴルフ大会チャリティー募金から



9月10日、阿部タミさん(芹田)が10歳のお誕生日を迎えました。現在、施設に入所中の阿部さんは、家族や施設の皆さんに祝福を受け、市から長寿祝状と祝金30万円が贈られました。これからも長寿で、いきいきとお過ごしください。

100歳長寿
阿部タミさん
おめでとうございます